

東北福祉大学 通信教育部 既卒者アンケート（自由記述欄）

下記アンケートは、卒業後日時が経過した卒業生から東北福祉大学通信教育部での学習を振り返っていただき、大学の教育効果、卒業生の学習成果と改善点を探ることを目的に実施する。

◎対象者：2014年度以降に入学し、2018年3月までに卒業した者とする。

◎対象者数：〔卒業生〕689名 〔回答者〕186名 〔回答率〕26.9%

- ① 卒業後の今、通信教育部で学んでよかったと思うこと、現在仕事や生活のなかで役立っていることがあれば、自由にお書きください。

No	① 自由記述欄（社会福祉学科卒）
1	人権を尊重する時代にこれから入っていくと思われるので、社会福祉等を専攻できとても有意義だった。
2	実習はとても有意義だった。実際に体験することで今の仕事に生かすことができている。
3	現在福祉職から離れて仕事をしているが、管理職をこなす上で社会福祉援助技術が役立っている。
4	物事の見方・考え方を学んだことで変化を感じている。被災者支援の仕事に就いた際、多職種連携に課題があると感じた。また、新しい職種であり、誰もが確立された実践的知識を持っておらず手探り状態であったため、大学での学びを通して多職種連携の方法や書類様式、記録内容について見直すことができた。
5	長年福祉とはほとんど縁のない環境で就労していたため、福祉についての知識も全くとってよいほど無かったので、通信教育部で学んだことは全て現在の福祉の現場での就労にあたり役立っている。
6	幅広い福祉の知識や現在の課題について学ぶ事により、視野を広げて考えられるようになった。
7	何枚ものレポートを作成したことから問題意識を持ち、「自分はその問題に対しどう考え、どう行動するか」を考えるようになった。分からないことやもっと知りたいと思ったことはインターネットだけでなく、文献を読むようになった。
8	生きていく上で自分の軸ができたように思う。在学中は大変だったが、学んでよかった。
9	市直営の地域包括支援センターで社会福祉士として勤務している。高齢者の支援のみならず、介入したその家庭の様々な問題解決には広い知識が必要とされ、通信教育部での学びが確実に役立っている。
10	介護福祉士養成校の教員から県社会福祉協議会へ転職した。相談支援員として勤務しているが、大学での学びや対象者への視点が変化したと感じている。
11	社会福祉とは何かという根本的な疑問を常に自分の中で考えながら、自分の相談援助技術の向上に努めることができています。
12	ものの見方に違う側面が持てたこと。相手の立場からも考えてみるようになった。
13	仕事をしながらで時間的にも大変だったが、今の仕事にも生かせる内容もあり、学んでみて良かった。他職種の方と話す機会もあり、自分自身の人間性も広がったように思う。
14	元々社会福祉士の資格は持っている状態で精神保健福祉士の勉強がしたく入学した。資格があるがゆえに、精神保健福祉についてもなんとなく分かるというおごりがあった。考えていたものとは違う専門性があるのだと学べたことが1番良かった。転職の予定はないが、今の職場(医療機関)で何か活かせる場面が無いか考えている。

15	在学中はデイサービスセンターで一般の介護職員として働いていた。勤務中では学ぶ事ができない多岐に渡る科目の勉強ができ、志を同じくする仲間とも出会え、本当に良かったと思っている。在学中に学んだソーシャルワークの基盤を、現在の勤務先である町役場町営の地域包括支援センターにて日々役立てている。
16	社会福祉士になり、専門職の仕事をする事ができるようになった。
17	社会福祉の楽しさ、人間への理解、深みが増した。大変役立っていると思う。
18	社会経験豊かな人たちが集まり、様々な考え方、価値観の相違の上で生活していることなど、勉強以外で学ぶ事柄も多かった。資格を取得して、次の新たな仕事への意欲に繋がった。卒業後も友人との交流があり、福祉分野での現況を知ることができている。
19	現場での実践が先であったため、理論と実践がリンクして考えの幅が広がった。
20	現在別の全日大学で看護を勉強しているが、レポート課題の作成などで構成や背景知識の活用ができ、学んだことが活かされている。現在、町議会議員として活動している中で、社会福祉を学んだことが多方面で役立っている。母が認知症になり、その日常的対応が適格にできること。
21	通信教育部在学中から社協にて生活困窮者自立支援の事業に関わっている。新しい制度であるため、様々な迷い(特に価値観のようなどころ)がある。その中で福祉の知識をベースにどう考えていくか、という方法論を学んだと思う。知識だけ覚えるのであれば本でも読めばいいが、その価値観については福祉大でなければ見つけられなかったと思う。
22	卒業後、相談員として勤務しているが、精神保健福祉援助演習や実習指導で学んだ先生方の経験談を思い出し、仕事で役立つことがあった。当時はそれとなく感じていたことが、今分かることもあるのだと実感している。
23	学びでの友人ができたこと。幼稚園で親に対して福祉行政などでサポートすることを学び、実践できたこと。
24	精神保健福祉士を取得し、基礎的な知識をしっかり身につけることで、今までの経験や技術に自信を持つことができたり、それぞれの見方、価値観を広く持つて関わられるようになった。
25	新たな視点を発見することができた。
26	卒業後社会福祉士の基礎研修を受講している。その研修課題レポートを書いているときに、2年間大学でのレポートを書いてきたことが現在に繋がって活かしていると実感している。
27	福祉の世界で働く人たちと知り合うことができ、分野別の価値観や業務内容を知ることができた。
28	通信教育部ということもあり、幅広い年齢層の方や職種で働いている方と出会えて、様々な視点(介護・保育・医療・役所)から現場の声をきき学習できたことが良かった。
29	制度的なものは忘れることもあるが、福祉の視点やスクーリング、講義での先生方の話は仕事をする上での拠り所となっている。資格をとるだけの勉強ではなく、深い学びであったことが大変有意義であったと思う。
30	福祉に対しての考え方や見方が変わった。もっと深く考えるようになり、仕事に活かされている。
31	現在は障害者の福祉施設で働いている。日々「本当にこれでいいのか」と不安や迷いを持ちながら支援を行っていた。スクーリングを受けて様々なひとと出会うことで、みんな同じような悩みを持ち、きちんと理論を身につける、または改善していくことができるような考え方ができるようになった。色々な方との出会いはプライスレスだと実感できた。
32	念願のソーシャルワーカーの職に就くことができたものの、現場での知識のなさに心折れそうな日々が続いている。しかし大学で学んだ証(ノートやレポート、実習記録など)を目にしてまた自信をとりもどすことができた。
33	多様な価値観があるということが身についたと考える。
34	現在学校では校内だけでは解決することが困難な問題を抱えている子どもや保護者がいる。そんな時に「福祉」「行政」「司法」などの立場からみたらどうだろうかと考える事ができるようになった。学習する前と比較して多面的に物事をとらえられるようになった。
35	現在も児童養護施設で勤務していて、実践に根拠が根付きやすくなった。センス(感覚)だけでなく、科学的なエビデンスが基盤にあることは説得力が大きく異なる。

36	地域住民や福祉サービス利用者に対し、根拠を持ってサービス、疾患、制度、関わり方などを伝えることができたこと。レポートを書くことが多かったので、要点を分かりやすく伝える技術が身について、仕事でも役立っている。
37	社会福祉士の資格が得られたことが自分自身の中で自信になり、前向きに物事を考えられるようになった。
38	ケースワークの視点を持つことができたので、日々の臨床に活かすことができている。
39	大学卒業という資格を得ることができた事。そのことにより自分自身に自信がついたこと。また、私は障害を持っているので、そんな自分を大学で学ぶ事で少しは受け入れることができたように思う。
40	熱心にご教授くださった先生方、世代を超えて切磋琢磨し刺激を受け、励まし合った友人との出会い、いつも親切に対応してくださった職員、入学時の予想以上に充実した2年間を過ごすことができた。決して楽なことではなかったが、目標をもち、学び、社会福祉士の資格を取得することができ、自信を持てるようになった。現在、障害者の方の就労支援の仕事に就いているが、学んだことを活かして、日々スキルアップできるように努力したいと思う。
41	障害者支援施設で働いているので、精神の病について少しでも理解できていることはプラスになっている。
42	現在生活困窮者の支援を仕事にしており、通信教育で学んだこと全てが役立っている。様々な問題を抱えた方々の支援を考えるうえで多方面からの見解が必要となる。通信教育でたくさんの先生方の講義の内容がアセスメントにとっても参考になっている。また、社会福祉士の資格を得られたのも大学の先生方の教えのおかげだと感謝している。先生方の熱量に負けずに今後も頑張っていきたいと思う。
43	精神科病院の入院制度、医療制度、障害者自立支援制度、成年後見制度、各種福祉関連法
44	自分の身近なところでの困りごと(病気など)を対処するうえでとても役立った。選択肢の幅が広がり、何を優先にするかを決める際にとっても有効だった。
45	現在地域包括支援センターで社会福祉士として働いている。地域で孤立して様々な問題を抱えている人たちと出会う。問題を一緒に考える過程で関係機関と連携していかなければならない。その際には大学で学んだ基礎的な社会福祉学的見方・考え方が役立っている。
46	高校時代、家庭の事情によって4年制大学進学をあきらめた私にとっては純粋に学ぶ事が楽しかった。もちろん働きながらなので苦しい状況ではあったが、この年齢になって専門的に何かを学ぶことがとても幸せな時間だった。
47	バイスティックの7原則はいつも心に刻んで対応している。
48	社会福祉士の資格を取り、その仕事に就いている。
49	全日制高校から定時制に転勤し、初めて「子どもたち」に出会ったとき、福祉的視点の支援が必要と感じ、福祉を学ぶために編入した。教員をやりながら学ぶうちに、生徒は「社会的障壁」のため、苦勞させられてきたことを、今、実感している。生徒理解、家庭理解が進んだことは大きいと思っている。
50	入学前から福祉関係の仕事には就いていましたが、入学と同時に広い分野での社会福祉業務に携わることになりました。個人的には数十年前に本学に在籍していたことがあったのですが、学びを途中でやめてしまったことに対する再チャレンジの意味もありました。仕事を持ちながらの学びは体力的にも精神的にも大変でしたが、リアルタイムの業務を大学での学びで論理的に自分の中に落とし込んでいくことができ、よかったと思います。
51	基本的な知識(土台となる部分)を身につけることができたと思う。話をするうえで根拠となるものがあることで、自信をもって自分の意見を伝えられるようになった。
52	福祉に関する認識が深まり、社会で起きているできごとに対して色々と考えをめぐらすことができた。
53	国家試験合格に最短であったこと。様々な福祉分野への興味の扉を開いていただいたことは大変、意義深かった。日々、実践の中で、振り返りの様々な視点を学んできたことはとても役に立っています。
54	就職支援のなかで、心理(人の心の働き方等)について根拠を持って支援することができるようになった。また、現在も学友達と支え合いながら生活できるようになった。
55	様々な事象に客観的な見方が身に付いたため、何事に対しても穏やかに結論を得る力がついた。洞察力が向上し、物事の真意・真実・原因等を察知することができるようになった。

56	社会人になって働きながら学びたい気持ちがあったときに、学業との両立は通信教育部でかなえられます。私の知らなかった考え方(多職種連携・QOL・エンパワーメント等)を学べたことは良かったです。もちろん仕事上・生活上でも日常でのものの考え方に影響しているし、特に物事の判断に役立っています。
57	それぞれの先生方の思想を学ぶことができ、現在の仕事に生かされております。
58	福祉の仕事についてまるで分からない状態で入学しましたが、様々な講義を通して人々が抱えている問題に対して、社会福祉士としてどのように接するべきなのかを深く学ぶことができました。現在は、大学で学んだ知識と資格を活かしてデイサービスを営み、生活相談員として仕事をしています。
59	自分のことばかりではなく、他の人のことも考えて行動できるようになった。社会問題に関心を持つきっかけになった。
60	特定分野に限らず、幅広い視点で福祉の現状を理解できたこと。
61	<ul style="list-style-type: none"> ・通信教育を始め直後のレポートに「これはあなたの本の感想文です」とコメントをいただき、なかなかレポートが書けなかった日をなつかしく思い出します。2つの学科でいただいた先生方のコメントや評価は文章力を培うための大きな励みとなりました。今、様々な分野の仕事に向き合う中で、集中力・文章力は大学での学びの中で育てていただいたお陰と感謝しております。 ・私は大学でお世話になるまで実学として「社会学」をあまり学んだことがありませんでした。社会福祉学科でこんな年まで社会を知らなかったことを反省し、何かと学びを継続しております。大学で教えていただいたことは、人として社会人として自分の核となっております。また、仕事の上で困難な事例に出会っても多角的な視点を持つことを養っていただき、文献を調べたり人々と連携したり、自主的な考えや行動への力となっております。 ・仕事で、大学で学んだ方々と連絡を取り合うとき、共に学び今働けることがとても幸せに感じました。
62	自分が10代の頃は、将来のことを何も考えていなかった。福祉の分野に興味がありつつも、その進路を選ばなかったし、安易に短大を選んだ。でも、あの時の自分では仕方なかったと思う。色々経験した後で福祉を学べたこと、授業に行くこと、学費を払うこと、全てが自分で選んだことにより、先生からの言葉や知識の重みも違い、「今」学べて本当に良かったのだと思う。
63	<ul style="list-style-type: none"> ・最小限の言葉で今必要なことを伝える大切さと難しさ。 ・支援することは、いろいろな形があることが分かった。環境に働きかける…よりそう、引き出す、繋がる。そして、利用者自身が大きな社会資源であることを学んだ。 ・大きな歩みだけが一步ではない。前向きな考えになること、その人なりの歩みの大切さを学んだ。(待つ、見守る、感じる) ・心のクッションが充実に向かっている。(利用者やその家族の言動に対し、背景・要因を考えることができるようになった) ・どんな人でも素敵な笑顔と嬉しそうな表情・態度がある。非言語の大切さ。
64	学ぶ前にはなかった福祉援助職としてのものごとのとらえ方や考え方、倫理観が身についたことが最大の学びの成果であったと感じております。それは、実生活にも役立っております。何よりも課題や問題をかかえ、相談に訪れる人を「人」として理解できるようになったことが私自身の心の成長にもつながっていると感じております。
65	通信教育部で学ぼうとした当初の目的である福祉のことを背景となる考え方等を含めて識りたいということはある程度果たせたと考えます。現在住んでいる地域を理解する等に役立っていると考えます。
66	公的支援窓口がいろいろあることを知り、周りへもアドバイスができました。(例えば、社協の一般相談窓口や地域支援包括センターなど)
67	実践的な技術の習得はあまり獲得できなかったが、考え方や見方、捉え方といったものをスクーリング時の講師の先生方から大いに学ぶことができ、視野を広げることができた。
68	精神保健福祉士の資格取得までに身につけた知識や技術によって、他者との交流の仕方が変わりました。具体的には、優しさの境界線を設けられるようになり、距離感が明確になって、お互いのためになる関係を築けるようになりました。
69	様々な地域から来る学生とコミュニケーションを取ることができ、それがそのまま全国規模のネットワークに発展していったことがとても良かったと思う。
70	仕事において、今まではデイサービス側からの視点から利用者について考えることが多かったのですが、大学で学ぶことにより、様々な視点から当事者が抱える問題を捉えようとするようになりました。学びの中でもそういった視点を得たことはもちろんですが、様々な制度について知ることができたことも大きな強みとなっています。

71	現在、被災地の病院で勤務しています。精神を患った患者さんと傾聴する中、不安と緊張でいっぱいなんだろう、と察すること。でもまた同じ症状で受診したり、入院するだろう(アルコール依存症)。でもここに受診することで、見放してはいない、ということの説明しながら、一緒に関わる、相互の関係性を維持することの大切さ、東北福祉大学の先生から御教示を頂いたことを実践しながら、自分自身も成長していきたいと感じます。
72	社会福祉について学べたのは良かった。
73	同じ方向を向いている仲間を持ち、時に相談できる友人たちを得られたこと。年齢や立場などで諦めず、学びの場を得られたことで、自身もココロのバリアフリーを得た。
74	精神保健福祉士としての考え方を体系的に学んだ事で寄り広い視野で当事者の生活を考えて支援できるようになったと思う。
75	社会福祉士の資格を取得できたこと。もちろん、そのために入学したのですが、実現できたことで自分に自信がつき、そのために多くの方が全力で応援して下さったことを思い出して、感謝しています。
76	障害者の就労支援現場にて知識や技術が活かされていると感じられることが多い。人と環境の関係や、其々の課題や考えるべき点など、ひとりひとり違うことを理解したうえで今何が必要なのかを考えていくことの迅速さや深さなど以前とは異なる気がする。
77	毎日、学習することがあたり前になり、卒業後、別な分野の大学に編入し毎日の学習を楽しんでいます。
78	・時間を有効に活用すること。創意工夫して学習時間を捻出すること。自分自身と毎日向き合い弱い心と葛藤しそれに打ち勝つ喜び。物事を多角的に見る眼を養えたこと。 ・54歳での入学ということで、正直大変なことばかりであったが、だからこそ得るものが多かったように思います。「為せば成る」を体感しています。なにより2年間のあの苦しみを思えば、日頃の問題は小さく思えてほとんどの仕事はスムーズにことが運んでいます。2年という時間と数十万という大金を使ったことは決して無駄ではなかったように思っています。できれば大学院で更に学びたいという気持ちに何度かなったことがありましたが、今はその余裕がない状況です。希望を述べるなら、通信の同窓会的なものがあるといいなと思います。以前、通学生と通信制の合同の案内を一度だけ頂いたことはありました。〇〇年度通信生徒のみの同窓会を希望します。
79	自分自身の中の知識、意欲、可能性が広がった。心だけで動こうとしていたものが、制度等を利用することで支援に多様性、可能性が生まれた。通信教育部で学んだことが、自分自身を常に見直し律するきっかけとなっている。
80	・精神保健の知識が習得でき、現在の実務に非常に役立っていること。 ・実習で学ばせて頂き、精神のクライアントさんから直接お会いして学ぶことができたことが貴重な体験だったこと。 ・高齢の私でも、貴大学が門前払いをせず受け入れて下さり、丁寧に面倒を見て下さったこと。以上3点、とても感謝いたしております。入学した時は、まさか2年で国試合格&卒業できるなんて予想していなかったのです。
81	迷った時や困った時に、テキストや提出したレポートなどを読み返して、原則や基本的な考え方などを確認することは、大変役立っている。
82	スクーリングで幅広い年代、様々な地域・職種の方と出会い交流することで視野が広がりました。仕事をしながら忙しい環境の中でも時間を調整し行動することで新たな世界が見えてくると感じる事ができてよかったです。
83	社会福祉に関する知識を得て仕事の相談員業務に役立っている
84	福祉の精神と学ぶ姿勢を改めて身に付けることができたと思います。それに、尊敬できる先生との出会いもあり、今の自分の大きな支えになっています。
85	常に「ソーシャルワーカー」としての視点を意識しながら、何事にも取り組めるようになったこと
86	レポートはテキストの内容をまとめることのほかに、講義を振り返り自分の考えをまとめないと書けないものがほとんどでした。レポートにかなりの時間を費やしましたが書くに当たって思考する時間がとても有意義な経験になりました。
87	福祉についての幅広い知識。学ぶことの楽しさを感じつつ、研修に参加できている。

88	熱意ある先生方の講義・ご指導を受けられたこと。事務局の方々に4年間支えていただいたこと。ともに学び、励まし合う仲間ができたこと。大学で得られた繋がりが卒業後の現在も良い縁へと繋がっています。社会福祉士の研修では、演習・実習を一緒に乗り越えた仲間と再会しました。また、通信制の大学を4年で卒業し、現役で社会福祉士に合格したことが評価され、現在の仕事に繋がっています。「東北福祉大通信教育部」には感謝の気持ちでいっぱいであり、母校になったことをとても嬉しく思っています。
89	以前から、障害分野に対する苦手意識があったが卒業後、障害児施設に勤め、障害の有無に関わらず一人ひとりの個人として向き合うことが出来るようになった。障害があるから苦手という考えは無くなり、行きにくさを抱えている側面がよく見えるようになった。そのため誤解されがちな言動に対しても、偏見を持たずに向き合えるのは大学での学びがあったからだと思う。
90	物事を深く考えるようになり、相手の立場に立った考えを学び始める前より考えるようになった。
91	仕事や家庭を犠牲にすることなく専門知識を学べたことはとてもありがたいことでした。家族のサポート役で自分の人生は終わるのかと諦めていましたが、大学で学び国家資格を取得したことで、新しい世界が広がりました。まだまだ社会の一員として活躍できる事は大きな喜びです。また、社会や地域や人間関係において様々な面から問題を見ることができるようになりました。それまでは、自分の主観でしか見ていなかったと改めて感じています。
92	社会福祉の知識だけではなく、社会人として必要な知識を学ぶことができた。今年、現在の一般職から福祉系の仕事に転職するつもりですので、学んだことを活かせるよう頑張りたいと思います。
93	学生時代に勉強したいと思っていた分野を勉強できたことが一番の思い出です。学びきれなかったことも多いですが、福祉の現場で働き続けたい思いは強くなり、この道を選んで良かったと改めて思うきっかけになりました。卒業後に転職となり、新しい場所で模索する日々ですが、まだまだ福祉の世界は奥が深いと感じています。
94	専門的な知識があるということはもちろんですが、『資格を取得している』という点に関わる方々の安心に繋がりが信頼関係を築く際の材料になると日々感じています。特に当事者の方々は、「病気のこと、障害のことをどれだけ知っていて自分と関わっているのか」という点に強く関心を持っている場合が多いと感じます。
95	社会福祉の体系を理解できたこと。現在の仕事(家庭科教育)では、詳しくなかった社会保障や介護制度についても自信を持って答えられるようになったという点で役立っています。これから社会福祉援助技術実習に科目等履修生で行きますので、地域の実情の理解に役立つ基礎知識を得られたものと考えています。
96	悩んでいる人がいれば、どこに相談したらよいかは教えることができる。
97	福祉の歴史、成り立ちが知れたこと。
98	福祉団体に勤務しています。書類の作成は必要資料の確保や取捨選択・入力・推敲といったレポート作成過程に通じるものがあり役立っています。
99	同じ仕事をしている人や同じ職種を目指す人とスクーリングを通し交流ができた。現在でもかかわりを持ち、悩みを話したりしている。自分で時間をみつけて自由な時間に学習に取り組むことでより集中して学ぶことができた。
100	認知症への理解が深まり、対応の引き出しが増え、仕事に生かすことができた。
101	社会福祉学的な見方ができること、そしてそれを実践する力は社会福祉分野において仕事をする以上、必要不可欠であり、この社会福祉学的価値観は現在の仕事において常に判断・実行力に大いに活用できています。傾聴にバイスティックに…。基本となるソーシャルワークに関わる姿勢そのものを学べたことが現在とても役に立っています。
102	様々な物事の見方、多様性を理解することができたと思います。国試も合格することができました。今の私の思考の軸になっていることに間違いありません。
103	児童指導員の資格が取れて資格手当がつき、給料が上がったこと。
104	社会福祉士を取得し、佐藤博彦先生がおっしゃっていたとおり、入学前と変わった自分があります。自信をもって生活できるようになりました。精神保健福祉士を取得し、志村祐子先生がおっしゃっていたとおり、自分が幸せと思うからこそ、クライアントへ自信をもって相談援助できています。
105	様々な事柄において自分なりの現時点で解答を出すことができる(完全なものでないにしても)ようになり、そのことで判断力がついた。

106	東北福祉大学のOBと知り合いになれたことは、介護業界に再就職した自分にとって大きな財産となっている。社会福祉士の資格取得できたことで、特別養護老人ホームの施設長の資格ができ、就任につながったこと。外部からの施設長就任であったが、社会福祉士資格は一目おかれる資格であったこと。
107	現在、高齢者施設の管理職ですが、人間の尊厳について学び、考えたことは現職でも大いに役立っている。むしろ、中心的な価値観となっている。経済合理性ばかり求められる現代であって、高齢者が生き活きと余生を暮らせるように支援していくには、大学で身につけた人間観・価値観はとても大切と思う。
108	「もしかして?」と思えること、学びがあることで点と点が結べるようになった。
109	様々な先生方のお言葉が現場の声(生)として、とても心に響きました。
110	福祉心理学科で書いた卒研「加配保育士のつなぐ役割と専門性」は、成績評価は低いがそのとき読み込んだ多くの事例や研究がその後、仕事で多くの障がい児とかかわるときに生き、心のよりどころにもなっている。
111	制度理解や福祉観の成長など、ソーシャルワーカーとして仕事していく中で大いに役立っている。

No	① 自由記述欄 (福祉心理学科卒)
1	学びを通じて多様な考え方ができるようになった。心理学の基礎を学び、現場で起こっている事象や人へのとらえ方が変わったと感じる。
2	社会人になってから学びなおすことで、現役の時に学んでいた意欲より、さらに興味をもって学ぶことができた。日常で関わりの少ない職種の人とスクーリングを通して出会う事ができた。物事の考え方が変わった。多面的に捉えて対応できるようになった。心のゆとりを持てるようになった(心理の知識が増えたため)。
3	現職での健康管理業務に役立っていると思う。もちろん普段の生活にも役立っていると思う。
4	高齢者分野での相談業務、その他期間限定で障害者分野、児童発達について仕事をしたことがあったが、こころの成り立ちや人の発達について学んだことを現場の事例に落とし込んで対応できたと思う。
5	通信教育を通して自己を向き合い、「やるか」「やらないか」の選択が迫られた。再レポートになると気持ちが沈み、次に進めなくなることもあった。しかし、そこを乗り越えることで更に「やればできる」という力に変えることができ、自分で決めた2年間の中で計画的に学ぶことができた。
6	アセスメントや観察をする際にどこを見ればいいのか等、なぜ?という理由の見立てができるようになった。
7	私は結婚後大学で学び始めた。夫婦、子ども、嫁姑、祖父母の看取りを経験する機会があったので、福祉心理学科での学びが非常に役立ち、そして私自身これまでの悩みが一気に吹っ飛び晴れ渡った青空のように思考が澄み渡っていることに気が付いた。知は力なりをまさに感じた瞬間だった。
8	福祉分野の仕事に就くことを希望していたわけではないが、結果的に福祉に関わっている。そこで、通信教育部で学んだ知識を得て多世代の学友と交流したこと、自ら進んで勉強をし、貫き通せたことは現在の自分の自信に繋がっている。
9	心理学を1から勉強したことで、自分を見つめなおすきっかけとなり、対人関係にも生かすことができました。カウンセリングの技法などは対話に役立っています。
10	仕事で覚えることがあるときに、学習心理学の知識を使って覚えたこと。
11	生活のなかで問題が起こった時など多角的な視点から見れるようになったと思う。一步下がって見れるようになった。
12	「人」をしっかり理解して、人と関わっていこうとする姿勢をより持てるようになった。これが、どのような効果、結果につながるかは分からないが、自信になっている。
13	様々な角度から見ることを学びました。見る方向はひとつではなく、人それぞれであるため、他者との関わり方に多少の変化が生じていると感じています。
14	今までぼんやりと理解していた分野、特に基礎心理学や障害者への理解が、理論に裏付けされた知識となった。それにより、自身を持って支援できるようになった。

15	学ぶ姿勢を思い出せたのがよかった。いろいろな知識や考え方に気付くことができたのが良かった。
16	みんな違うところを持っている事などを学び、相手の話している事などを自分はよく聞いているのかを振り返られるようになった事が役に立っていると感じています。
17	在籍中は、とにかくレポートざんまいで、休みの日も休んでいる気になれませんでした。でも、卒業生の方達がおっしゃるように、そんな辛さを乗り越えられたことは自分に対してよくがんばった!!と言える自信につながりました。

No	① 自由記述欄 (卒業学科不明)
1	現在病院に勤務しているが、院外の環境からの視点を得て視野が広がった。
2	学生気分になれて楽しかった。自己満足だが、大学卒という学歴を得られた。資格を取得できた。スクーリングが楽しかった。
3	多角的な見方ができるようになった。
4	大学において精神障害者等の心の葛藤等を学び、現在の高齢者福祉の支援にも役立っていると思う。
5	仲間が増えた事。新聞の投稿欄に載った際、仲間から連絡があったことには驚いた。
6	記録することが多い仕事なので、レポートを提出する中で文章を書く力がついたと思う。
7	仕事に対する考え方、まわりの関係者との関わり方、見方が変わったと思う。また、本人(当事者・利用者・患者)だけでなく、まわりの家族、CM、医師などとの関わりを考えるようになり、広い目でみれるようになりました。その他、法律・根拠を考えるようになった。
8	高校の講師(福祉)として勤務できた。
9	通信教育で学んでよかったと思うことはスクーリングに参加して様々な人と話をする機会ができ、友達ができただ事。住むところは違っても卒業した今でもよき友達として交流ができている事。

- ② 卒業後の今、通信教育部に在学中に自身が授業を履修したり学修の機会を利用したりしてもっとよく学んでおけばよかったと感じていることがあれば、自由にお書きください。

No	② 自由記述欄 (社会福祉学科卒)
1	社会福祉士の資格を取ることに重点を置いたため、学際的分野の科目を学修できず残念だった。
2	最低限の単位の確保と卒業で精いっぱいであった。本来であれば興味のある心理系の授業も履修してみたかった。
3	災害被災者の支援関係について(特に心理面について)。経営論。
4	福祉の現場で就労して、福祉を必要とする人たちに精神を病んでいる人が多いと感じ、精神福祉についてもっと学んでおけばよかったと感じている。
5	福祉と教育、福祉と音楽など、自分自身が興味のある分野と福祉とのつながり、関連についてもう少し深く、意識して学んでおけば、と感じている。
6	SWとしての社会資源を作ること(「地域福祉論」に近い)や、ピアサポーター等の当事者運動についての日本の現状について。受け身ではなく能動的に働くための先人達の歴史や、ワークモデルを学ぶ機会を作っておけば良かった。
7	学習時間をもっとたくさん取るべきだったと感じている。苦手な科目もじっくり学んでおきたかった。
8	心理学的知識の必要性を感じている。
9	同じ環境で学んでいる人との交流をあまりしなかった。授業のことや普段考えていることを教員の方と話したかった。
10	学生同士の交流をあまり持てなかった。大学側でそういう機会を作ってもらえたら有難かった。
11	精神保健福祉という大きなことだけではなく、医療機関、地域の施設、行政等細かな就労場所での役割、また疾病特有の支援機関や支援方法等、もっともっと細かく分けて興味を持ち学んでいたら…と思う。
12	現在、地域包括支援センターで働いていて、身体障害・知的障害・成年後見制度についてもっと学んでおけばよかったと感じている。在学中にもう少し社会福祉士取得後のイメージを持っておけばよかったと感じている。
13	理論を実践で活かせる勉強をもっとしておけば良かった。
14	経営のことなど。
15	児童分野で仕事をしているので、児童発達や心理、児童が存する家庭など、学びたい・学んでおけば、と感じる。
16	卒業や単位取得がメインとなり、本当に学ぶべきこと、学びたいこと、自由に考えることが疎かになった感がある。演習A、B、Cの中でもっとディスカッションの時間があればいいと感じる。
17	将来看護職として働いていくことをめざしているが、社会福祉士の国家試験の必要科目の履修が不十分の状態であるが、受験資格までは持っておきたいので、実習等時間的な都合がつけば再入学も検討したい。少子化社会の中で地域福祉や高齢者福祉について今後深く勉強したい。
18	後悔のないように学んだつもりだったが、現場に戻ると疑問はたくさん出てくる。特にPSW実習の時にもっと専門職としての心構えなどが深められたら、と思った。
19	福祉心理学に興味があり、学んでいたが、卒業単位を優先したため、単位が取れず卒業したことを後悔している。できればスクーリングに参加したかった。地元でスクーリングが受けられたら…。
20	発達障害、自閉症、強度行動障害、重症心身障害者について
21	もっと集中して学んで、先生方にいろんなことを質問して学びを深める事ができていれば良かった。
22	通信教育部に入学してはじめてのころのオリエンテーション等になかなか参加できなかったこともあり、システムや履修について、レポートなどの理解ができなかったため、最初からしっかり様々な学習の機会に参加するべきであった。

23	時間切れで考えが足りないと思いながらも提出したレポートが可で返ってきたとき、先生も分かるんだなと思い、失礼だったなと後悔の念を抱いたこともあった。
24	子どもの貧困について学びたかった。
25	心理学の授業や障害福祉の授業を多く追加履修すれば良かったと今現在障害者支援にあたっているうえで強く感じた。就労支援にあたっているが、重度障害をもつ方でもストレングスを見つけることで小さな仕事を提供できる新しい発見ができた。
26	とても忙しい2年だったので、復習に時間をかけ、知識を定着させることが不十分であったことが残念に思う。
27	レポートを書くことに必死なところもあったので、もう少し余裕を持ってレポートのことを考えずに授業を受ければよかった。とにかく先生の話の直接聞かないと頭に入らないので、スクーリングに出てよかった。
28	『With』だけでは見つけることのできない情報や知識、または対人援助職としてのあり方等をとても分かりやすく、一生懸命に伝えてくれる濃い先生がたくさんいた。できる限りスクーリングに参加して、雰囲気を感じましよう。どの先生からも必ず何かは学べ、生きる知識・力がつけられます。
29	具体的には今病院で医療ソーシャルワーカーとして働いているので、保健医療サービス論をもっと深く学び、知識をもっと自分のものにしていたらもう少し楽に仕事に向き合えていたのではないかなと思う。
30	私は社会福祉学部を卒業したが、もう少し頑張っておけば良かったと感じている。
31	仲間。人脈作り。学んだことをアウトプットする力、技術。
32	ほかの学生との交流、つながり。
33	心理学も学んでおけばよかった。
34	公的扶助論など今の仕事に直接関係のある授業を自分が理解できるまでもう一度受講すれば良かった。
35	全ての履修した科目は全力で勉強したので、学んでおけばよかったと感じていることはない。
36	3年次編入ということで慌ただしく卒業してしまった。レポートを仕上げる際にもっと多くの文献に触れておけば良かったと思う。
37	実習ではじっくりと利用者に向き合い、現場での問題について学習する時間がもっと持てたなら良かったと思う。
38	資格取得のための受講以外にもっと知見を広げるため関連科目をたくさん学んでおけば良かったと感じている。
39	たくさんあるが、その時は限界だった。
40	福祉心理学などの心理系の学習が必要と考え、卒業後、科目履修生として在籍している。
41	集中力を切らさないために、最短期間での履修、資格取得にコミットしていたので、どうしても過密スケジュールをこなす駆け足の学びになってしまいました。社会福祉士と精神保健福祉士の同時取得のカリキュラムだったため、必須科目以外に興味のある科目があっても履修することができませんでした。時間をつくり、もう一度教科書等を読み込んでみたいと思っています。
42	最短での資格取得、卒業を目指していたため、資格要件の授業を中心に受けていた。実際のソーシャルワーカーの現場は、複合的(高齢・障がいなど)な問題を抱えている世帯が多いことから、自分の興味のわいた事業は積極的に履修すれば良かったと思った。
43	心理学についてももっと勉強すればよかった。人を相手にすることが基本であり、人間を理解することが第一に考えるべきであると思う。
44	在学当時を思い出しても、できることはすべてやったという自負があり、後悔は特にありません。
45	心理について、学びを深めたいと感じている。
46	社会福祉士、国家試験受験資格の各科目

47	社会福祉学科に入ったのですが、在学中、心理系の科目に興味が出てきたので、学科を変えて学んでおけばよかったと感じています。
48	視覚障害者論や心理学について学んでおけばよかったと思いました。時間をみて是非とも来年は福祉心理学専攻で学びたいと思います。
49	資格取得に必要な勉強を中心に履修したので、後から考えて(せっかくなので)共通基礎科目等で興味があるものも視野に入れば良かったかな?とも思いました。
50	一般の仕事をしながら勉強したため、なにもかも時間が不足していた。実習前の学習をもっとしっかりやっていたら内容が濃い実習を受けられたと思っている。(より濃い実習を)
51	・仕事で障害年金、自立支援医療(通院)、生活保護、手帳の申請…様々な患者さんの生活支援の相談・手続きを行っています。障害者支援の制度については、ケースを担当するたび、これからもっと学ぶべきと感じます。 ・成年後見人(禁治産からの変更)のケースで、十分な知識がないと変更まで時間を要してしまうと感じました。最終的には法的なことが理解できないといけなことが分かり、法的な科目をスクーリングで履修してゆきたいと思っております。制度・法は基盤となるものとして、これから確実にして参ります。
52	卒業したあとに、在学生の「この授業が良かった」「あれとこれの授業を足せば〇〇の資格が取れる」等の情報が入り、受ければ良かったと思う。卒業したあとでも、「あの先生の授業受けたいなー」と思う。
53	・国家試験受験資格取得に向けて、最小限の科目を履修していくことで精一杯であった。できればそれらの科目をさらに深めた科目を学んでいくことができたなら、良かったかもしれない。 ・全て繋がっている。レポート設置の有難さを今感じている。
54	「発達障害者の心理」「認知心理学」が履修できませんでした。もっとがんばって履修すればよかったと振り返っております。
55	無理に詰め込んで学習したので、余裕を持って学習したかったと思う。
56	2年間はスクーリング受講、レポート課題で手一杯でした。
57	就労支援分野(ソーシャルファームのこととか)、心理学
58	私には発達障害があるので、発達障害が講義等の中でどのように取り扱われているのかを知る機会を、もう少し積極的に取り入れられたらよかったと考えています。
59	講義の中でいくつか学びを深めたいと思うことがあり、大学院に進学した。
60	講義の前にテキスト等を読むなどしていれば、もう少し講義の内容がすんなり入ってきたのかなと思いました。仕事や育児に追われていると言い訳せずにしておくべきでした。
61	スクーリング参加の時、講師の先生方に、もっと質問して見聞を広げれば良かったと感じます。定期のWithを閲覧する度に、当時の先生方を思い出しながら、上記のようなことを感じます。
62	心理学についてもう少し学んでおけば良かった。
63	様々な社会資源の位置づけとつながり方
64	実際の現場での根拠となる、制度や法律をもっと学んでおけば良かった。
65	制度の事
66	実習前の事前学習をもっとやっておくべきだったと感じました。
67	高齢者関係、地域福祉について。興味があまりない…、範囲広すぎて面倒くさそう…と、試験対策程度だったのが悔やまれます。
68	働きながらだとやはり時間をつくるのが難しかった。特に振り返ることがなかなかできなかった。全てにおいてもっと良く学んでおけば良かったと思う。
69	心理学系をしっかりと学びなおしたいと思うことがあり、社会福祉士の資格も最初の試験で合格させて頂いたので、東北福祉大学の福祉心理学科で認定心理士の勉強をしようかとのアンケート調査のパンフレットを見て考えています。

70	精一杯やったので心残りはありません。 自分になりによく頑張ったと思っているので特にありません。ただし、感想として担当教授を選択したりするシステムがあったら良かったと思います。具体的な例を挙げると、精保演習で2年間すべて同じ方で一度でいいからもう一人の方の話も聞きたかったという思いがあります。(2人の担当者がいるのであれば、必ず2人の話が聞けるよう調整するという配慮がほしい。同一者たげにならない調整です。)
71	最期の方は仕事と課題に追われ、余裕がなくなり、卒業することに必死となり、国家試験の準備ができず、国家試験に受かることができなかつたため、ゆっくりもっと学べるように期間を延ばしてもっと全てにおいて細かく学べばよかった。
72	入学時に期待していたことの2倍位の達成度と思っています。在学中にここまで学ぶことができ本当に感謝です。今後は更に研究を進めたいと思って、通信制大学院でお世話になっております。
73	在学中は課題をこなすことがいっぱい、それ以上のことをすることは困難であったと思う。そのくらい、学びの質も量も大変多かったから。
74	社会福祉士取得・卒業に必要な最低限の科目しか履修しませんでした。福祉大は素晴らしい先生が多くスクーリングの時間はとても充実していて楽しかったと今でも思い出します。もっと多くの科目を履修しスクーリングを受ければよかったと思っています。
75	心理学をもう少し深く学習ができたらと感じた
76	レポートのみで履修した科目は、スクーリングを受けた科目に比べてやはり理解度が浅かったように思う
77	レポートに追われテキストを十分に読み込んでいない部分もありました。実際に現場で働くと随所で様々な知識が必要になってきます。もう少しテキストを読みこなしておけば実務にもっと活かせる場所があったと思っています。
78	社会福祉士の受験勉強に力を入れ、履修していた心理系の科目を受講しなかった事を後悔している。
79	心理学の分野と社会学の知見をもう少し身につけたかった。年に2回の講義が1回は実習期間と被っていたことや、残されたチャンスともいえる講義も北海道ということで諦めざるを得なかったことが悔やまれる。
80	1科目1科目を深く学ぶと言うよりも、レポートを出すための急ぎ足での学びとなったため、今思えば勿体ないと感じる。また、都合が合わず受講できなかった科目もあり残念に感じている。
81	心理学をもっと学んでおけば、精神的なサポートが上手くできるのではないかと思います。
82	できればもっとスクーリングに行けたら良かったと思います。住んでいる場所から開催場所まで遠く、仕事の都合もあったのでオンデマンド中心でした。社会保障制度はもっと勉強したかったです。(通学の卒業生でもあったので、一部科目は免除でした。免除科目の中でも勉強し直したかった科目もありました)
83	『知的障害』に関して授業を履修しておけば良かったと感じています。精神障害者中心の就労継続支援B型事業所に勤務していますが、知的障害者(重複含む)の利用がここ数年で増え全体の3割近くになっており、改めて専門的な知識が必要と感じます。
84	基礎理論。実践のための知識は卒業後も学ぶモチベーションがありますが、社会福祉学や社会学の基礎理念については、在学中にじっくり学んでおきたかったという思いもあります。
85	自信がないため、資格をいかせる仕事に就いていないが、少しでも自信をつけるため研修等があれば参加したいと思っている。ただ自信は実践により身につくものとも思っているため、実践現場で学びたいことがあれば勉強していきたいと思う。
86	履修しなかった選択科目の履修をしてあげればよかったと感じています。
87	法律、制度について勉強がしたいです。
88	心理学に関する授業等は興味がありましたが、2年での卒業を目指していたため諦めました。これから心理学や心理学に基づいた面談テクニックを学びたいとも思っています。
89	通信教育での学修とは関連しないと思いますが、人間関係。

90	基本ですが、復習しなかったことが一番学んでおけばよかったと感じている。
91	都合5年間いたので、国家試験の指定科目の他の科目も勉強しておけばよかったと思います。今、地域包括支援センターで働いていますが、社会福祉士の資格は当たり前として、精神保健福祉士で学んだ知識がとても役立っています。精神的に病んでいる高齢者がとても多いので…
92	スクーリングなどで出会った方々ともう少し丁寧に関われればよかった。
93	心理関係の科目をもう少し深く勉強したかった。
94	高齢者の心理学(発達心理学を含め)をもっと深掘りして勉強しておけばよかったと思う。もう一つ、発達障害についても知識を深めたかった。
95	受験勉強をもっとしておけばよかった。
96	教科書も日頃からしっかり目を通しておけばよかった。(レポート前だけでなく)
97	産業カウンセラーの勉強をして、資格を取ればよかった。心理療法やカウンセリングの技法を身につけたかった。
98	もっと学びたいことはいっぱいあった。特に先生と直接話したかった。しかし、スクーリングに行く時間がなかった。

No	② 自由記述欄 (福祉心理学科卒)
1	課題に追われ、一つ一つの教科をじっくり学習できたとは言えない。今後時間があればもう一度読み返したりしてみようと思う。オンデマンドは便利だったが、やはり実際の教員から受けるスクーリングの方が他の生徒と話せたり、教員に質問できた。スクーリングをもっと受けておけばよかった。
2	自己覚知についてもっとよく学びたいと考えている。他者を理解するために、まずは自分をよく知ることで捉え方や伝え方などが変わると実生活で感じているため。
3	社会福祉士の資格が取れるように履修してもよかった。
4	障害児について。高層に住む環境が引き起こす心理について。
5	授業で学んだことの振り返り、さらにはテキストを読み返すことで深く理解することができている。資格は自信にもなり、次のステップへの繋がりにもなり、現在は社会福祉学科で社福と精神とを学ぶことの楽しさと辛さを感じている。
6	心理検査などについては実際自分が体験することで理解が深まるのかもしれない。
7	私は福祉心理学科にいたが、卒業後社会福祉学科への入学も検討中。ほかの学友でも両方の学科を学び卒業している方も多くいるよう。生涯学習という意味でも、将来大学院進学もしたいところ。
8	充分やりきった…と思います。最短で卒業するために自分を追い込んだこともありましたが、中身の濃い2年間でたくさんのことを勉強させていただきました。入ってよかったと思いますし、後悔はありません。
9	『人間関係論』や『特講・福祉心理学8(ストレスとつきあう心理学)』を履修しておけば良かったと思う。会社の中には、いろいろな性格の人や態度の人がいることを体験したため。あとは履修した科目をもっとよく学んでおけば良かったと思う。
10	現在思うことは、一つひとつの教科をもう少し深く時間かけて学びたかった。自分がレポートに追われていたように感じる。
11	心理学をメインで学んでいたが、精神保健福祉士の資格取得についても、もっと考えるべきだったと感じている。
12	履修の順番は大事だったと思っています。特にスクーリングは講義を受ける順番が大事だったと思います。また、卒業研究を履修していましたが、形にできず試験で卒業となったことは大きな後悔となっています。
13	障害者支援に関する事例検討
14	自分が進められる量などを考え、計画を立てながら目標を達成できるようにしていく事などを身につけることをもっとよく学んでおけばよかったと感じています。
15	座学だけでなく、演習科目を多く履修し、実践的なことを体感しながら学んでおけば良かったと思っています。
16	履修科目はほとんど資格をとるためのものでしたが、もっと自分のためになるような楽しそうな科目も履修しておけばよかったなと思っています。

No	② 自由記述欄 (卒業学科不明)
1	働きながら、私生活も多大に犠牲にしすぎることもなく、自身としては精いっぱい学べたのでは無いかなと思う。
2	大学では精神障害についても学んだが、福祉全体として、社会福祉も学びたかったと思っている。
3	国際・福祉論のスクーリングが無かったのが今でもずっと残念だと思っている。
4	社会福祉士は広く浅い知識が必要だと日々感じる。単位を取得する事に必死だった日々だが、もっとしっかり身につけておきたかった(時間的には不可能だが…)
5	できる限りのことはしたのでない。今は精神保健福祉士に興味がある。
6	福祉・介護事業の経営ノウハウ
7	すべてにおいて、卒業にこだわらずにもっと深く勉強しておけば良かったと感じている。レポートができて単位が取得できれば良しとしてしまったことが悔やまれる。

③ 通信教育部で取得した資格や学んだことをいかして、職場内異動、転職・就職、大学院進学を行いましたか？

No	③ 自由記述欄（社会福祉学科卒）
1	相談援助支援の仕事を第二の人生として活かしている。
2	・職場内異動：介護職からデイサービス生活相談員→地域包括支援センター ・転職：地域包括支援センター社会福祉士→総合病院事務職管理職
3	被災者支援事業に携わりたく、仮設住宅のサポートセンターへ異動を願い出た。同所で2年勤務したのち、生活援助員(LSA)で1年従事し、被災された方々から多くのことを教えていただいた経験は貴重なものとなった。
4	通信教育部で学んだことにより社会福祉士の資格を取得することができ、福祉事務所にて婦人相談員・母子・父子自立支援員として就労することができた。
5	資格を活かして就職し、現場でも学んだことを活かしながら日々勉強している。
6	PSWを取得し、地域でNPOの就労支援事業所で働いている。「生活支援員」と制度の中では呼ばれるが、共生社会をつくるのが仕事だと思っている。
7	卒業時に社会福祉士、精神保健福祉士の資格を取得したが、その時の職場は評価してくれず不満だった。その後臨時職員ではあるが、市直営の地域包括支援センターに転職。やりがいのある毎日を過ごしている。
8	介護福祉士養成校の教員から県社会福祉協議会へ転職した。非常勤講師として介護福祉士養成校にて介護過程を担当している。
9	社会福祉法人内のデイサービスセンターにて4年ほど勤務した後、昨年10月より町役場直営の地域包括支援センターで社会福祉士として勤務している。
10	地域包括支援センターに転職した。
11	それまでとは違う分野(福祉分野)で働くことができた。公務員→SSW
12	北里大学看護学部で現在一年生として在学中。
13	就労継続支援B型の支援員から相談支援センターで相談員として勤務している。
14	生活支援員
15	現在は介護支援専門員で就職したため、直接社会福祉士資格で就職したわけではないが、社会福祉士であることでの人とのつながりは仕事での面でも生かされていると思う。
16	高校の教員から児童養護施設の職員へ転職した。
17	介護福祉士として介護現場で働いていたが、大学卒業後幅を広げたいと考え障害者施設(就労支援センター)に転職した。
18	資格取得後、市の嘱託の福祉職採用になり、現在に至っている。ただ、SWが少ない職なので、活かしているかどうかは微妙。
19	異動はあったが、資格をいかしたわけではない。ただ研修等を企画・講師側になったことで学びは無駄になっていない。
20	PSW資格取得前に相談支援事業所へ転職していたため、職場で実務につきながらの学習になった。学習と仕事相互に活かされ、実践的なイメージがしやすかったと思う。資格取得後は正式にPSWとして働くことができ、自信に繋がった。
21	大学の関連施設、東北福祉会で勤務している。
22	社会福祉士国家試験合格を経て、総合病院の医療福祉相談員として働いている。精神保健福祉士もとりたいたいと思いはじめている。
23	大学を通じて2つも国家資格を取ることができた。東北福祉大にはこのような環境を提供してくれたことにとっても感謝している。児童福祉、現在は特に児童虐待、家族病理についてきちんと研究したいため、時年度より大学院への進学を決めている。
24	社会福祉士をとったことで地域包括支援センターに社会福祉士として配置された。

25	通学中に勤務していた品川福祉事務所にいる。転職の予定はない。
26	休職していた会社を辞め、障害者枠で神奈川銀行に転職した。転職した先は事務職なので、大学で学んだことが直接活かせるというわけではないが、大学で学んだ福祉の考え方、人生の生き方について活かしていきたいと思う。
27	卒業と同時に障害者就業・生活支援センターに就職した。福祉を学ぶきっかけが障害を持つ方々の就労支援に携わりたいとの思いだったので、夢がかなった。2年間学んだことを活かして、利用者の方に寄り添う支援を行いながら日々精進していきたいと思う。
28	4月に仕事を始めたが、体調を崩してしまい辞職。現在体調も良くなってきたのでどうしようか考えていこうと思う。
29	精神障害者就労支援B型から青少年の支援へ転職した。
30	1回目の入学で社福士を取得し、県の職場で福祉の現場へ異動することができた。2回目の入学とこれから精神保健福祉士へのチャレンジで関係職場での相談支援の業務への異動を希望している。
31	MSW
32	高校教員から、小中学校のスクールソーシャルワーカーへ転職した。この分野の人材が少なく、忙しく活動している。とてもやりがいのある仕事である。これも大学で学んだことが大きく、新しい人材の育成に力を入れている。
33	私の場合、通信教育部に入学と同時に(それが目的で)、転職しました。(社会福祉協議会)入学前は高齢者施設に勤務していましたが、転職した職場で必要なスキル、資格が大学での学びと同時進行でリンクしていたので、非常に役に立ちました。
34	生活支援やモニタリングへの参加を担当することになった。
35	先ず、通信を2年間で卒業したことが評価につながっている。また、社会福祉学科で学んだ内容は現在の仕事にも必要なスキル(ストレスを感じる人に対するの対応)となっている。
36	事務→若者サポートステーション相談員
37	現在、学校保健室とうつスクリーニング受診者に関する仕事をしております。
38	グループホームの世話人→精神科病院のPSW
39	起業しました。
40	役職につくことができたが、大学で学んだことを生かして考え方が変化したことが一番の要因だと思っている。
41	地域包括支援への異動(法人が市より委託を受け、H30.4.1より開所)
42	・2017年 春 PSW資格取得後、5ヶ月、ハローワークでお世話になり、就職活動に苦戦 ・2017年 9月 宮城県立精神医療センター 産休代替(有期雇用職員)として就職 次年度も同所にて、有期雇用職員として、慢性期病棟の地域移行支援、退院支援、相談支援に励んでおります。
43	大学の実習がきっかけで丘の家乳児ホームに誘われ、入社しました。福祉士への勉強も応援してくれました。
44	定年退職後、社会福祉士や認定心理士などの資格を有することで第二の職場にスムーズに転職できました。また、現職において福祉業務(地域福祉や個別相談支援等)で実践しております。
45	ボランティアで町内会、傾聴ボランティアにかかわっています。
46	就職活動が難航しています。大学学習中にもっと具体的にどこでどんなことをしたいかを掘り下げ、調べたり周りにリサーチするようになっておけばよかったと反省しています。
47	精神療養病棟介護福祉士→地域医療連携室
48	資格を活かした職種ではないのですが、公立高校の事務職に就くことができました。人間関係が良好で、精神保健福祉士の資格が間接的に活着していると感じております。

49	特定非営利活動法人OVAより引き抜きをしてもらい転職し、関心のあった自殺対策に取り組むことができている。また、東北福祉大学通信制大学院に進学した。
50	現在育児休暇中のため、復職後ゆっくりと資格を活かした仕事への転職活動を行なっていきたくて考えています
51	元は市内の介護療養型施設での勤務でしたが、今年から被災地の病院で勤務し、直接的なPSWの職業ではないのですが、患者の捉え方、評価の仕方は入学前とは比較にならないほど見えるようになりましたが、それをどういう手段で自己決定や社会参加に繋いでいくか。今後の自分の課題と感じます。併せて貴校の大学院に進学も考えています。
52	今は就活していますが、なかなか採用が決まらず苦戦しています。
53	病棟看護師から、医療相談室に看護師兼精神保健福祉士として異動になった。
54	受験後、手ごたえがあったので転職を考え、タイミングよく県社協の高齢者総合相談担当職員を募集していたので応募し、資格取得を条件に採用されました。面接時に「絶対合格しています」と言い張ったことを、今でも笑われます。
55	院への進学はないが、専門学校に通信で通っている。
56	現在の職場、役職にさらに幅が出て一層仕事内容が深まった。 あと2年で今の職場(教育職)を退職となります。その後は、社会福祉施設(知的障害者の就労移行及び継続支援施設)で再就職してみたいと考えています。その時にこれまでの知識や経験を生かした取り組みができればと思っています。具体的に進んでいる訳ではありませんが、希望ということで書きました。
57	介護職であるが、社会福祉主事を取得したことで生活相談員となることができ、仕事に幅ができた。
58	卒業後に特定非営利活動法人福島・伊達精神障害福祉会(通称ひびきの会 福島市五月町)の副理事長兼事務局長代行として2年間勤務した。現在は理事に戻って、福島市の審査会委員等を引き受けている。
59	社会福祉学科で学ぶ中で自分が生まれ育った地域に貢献したいと思うようになり、地元の公立病院に転職しました。今は看護師として病棟勤務をしていますが、病棟での経験を積んだ後は地域医療連携室で社会福祉を学んだことを活かしたいです。
60	国試に合格しさらに今後の仕事に結びつけたい
61	放課後児童クラブの運営
62	現在、名取南地域包括支援センターで社会福祉士として働いています。
63	老健相談員から山形県内初の自治体採用のスクールソーシャルワーカーへと転職しました。地元の東北公益文科大学大学院のスクールソーシャルワーカー養成課程開設に伴い、スクールソーシャルワーク論を科目履修し学びを継続しています。行政や医療と学校をつなぐだけでなく、子どもたち対象のイベントを企画するなどしながら、身近な地域でのスクールソーシャルワーカーの在り方を確立しようと頑張っている所です。4月からは大学院進学も視野に入れていきます。
64	信頼する社会福祉士のもとで成年後見業務の補助事務をしている。
65	療育の分野の職業に従事する機会となった。今後、大学院への進学も検討している。
66	以前よりお誘いを頂いていた大学の研究室へ来年度よりお世話になることになった。仕事内容は、学校に馴染めない子どもたちとその親の支援である。
67	実習に伴い以前の職場(医療事務のパート)を退職しました。年齢と経験で大きな不安がありましたが、9月に卒業した後、社会福祉主事任用資格で有料老人ホームの生活相談員として採用されました。3月に社会福祉士の資格を取得後は、社会福祉士として資格手当も付き、専門職として仕事を任されています。経験豊富なベテランのケアマネージャーや看護師の指導を受けたり、相談にのりサポートしてくれる管理者がいるなど職場の環境には恵まれています。現在、子供たちも独立し家庭的にも落ち着いているためじっくりと仕事に向き合うことができます。
68	来年度、社会福祉援助技術実習に行き、その上で転職等を検討する予定。

69	通信教育修了後も同じ職場に勤務しています。
70	社会福祉士として介護老人保健施設で働いている。
71	栄養士から高齢者福祉センター職員へ転職しました。
72	児童指導員としての障害福祉分野→児童養護施設への転職を経て現在は社会福祉士として行政の児童福祉分野で家庭児童相談員として専門的な業務に就いております。とても毎日がやりがいがあり楽しいです。資格を取得し可能性が広がり自信が付き世界が広がりました。
73	希望の結果とはなっていませんが、あきらめず追求していくつもりでいます。
74	社会福祉士を取得して、介護から社協の福祉活動専門員に転職した後、老健の支援相談員へ転職した。その後、精神保健福祉士を取得し、現在、地域包括支援センターで働いています。自信をもって働いています。今度、法人内で介護職員初任者研修の講師をやります。
75	行いたいと考え就職活動もしましたが、うまくいかず、結局は「行っていない」ような状態になっています。
76	県職員を退職し、社会福祉法人に再就職できたこと。(通信でともに学んだ方の力添えで)社会福祉士の資格により、特養の施設長に就任できた。
77	現在の仕事が福祉の知識を求められているので、後進の育成指導に活用している。将来、自立(社会福祉士事務所)も考えている。
78	在中の市内にもどり、スペシャリストといわれる人が上司のところへ転職。日々、前進中です。
79	社会福祉士の国家試験を2度受験し、今年やっと合格いただきましたので、是非、就職活動をし、生かそうと行動中です。
80	小学校司書在職中に特別支援教育に興味をもち、小・幼の免許と保育士資格に併せて本学で特別支援教育を学び、資格免許取得後、障害児担当保育士や聾学校小学部講師、特別支援教育支援員として勤務した。

No	③ 自由記述欄 (福祉心理学科卒)
1	もともと地元の大学院進学を目指していた。教育学部はすでに卒業していたので、心理・福祉をここで学んでから現在の大学院、臨床教育学部(教育×福祉×心理)への進学をした。
2	職場内異動はなかなか実現できず、もっと広い世界を知りたいと思い、転職活動を行っている。
3	転職では心理学を活かしたいと思っていたが、認定心理士や産業カウンセラーでは就職に結びつかないように感じる。大学院に進学して公認心理士を目指したい気持ちもあったが、経済的なことや年齢のことがあるので、諦めてしまうと思う。しかし、東京在住でも通信教育で公認心理士の資格が取れる学修体制が整えられれば目指したい。
4	厳密には毛色が少し異なるのではと思うが、学校を一校経由して無事内定を希望の職でもらうことができた。学んだことが下地になったと感じる。
5	より専門的な職場で対人援助の職に転職した(障害者の就労支援)。
6	一緒に学んでいた方からの紹介で多賀城市子育てサポートセンターへの就職が決まった。今後は0歳～6歳の乳幼児とその保護者を対象とした子育て支援の仕事を行う予定。大学で取得した資格が活かせてうれしい。
7	2018年4月から行政書士事務所で働いている。
8	今後生かしていきたいと思っていますが、心理はなかなか大学院を出ていないと難しいです。
9	営業として入社したが、期待していたものと違い、部門を異動。現在は工場で製品を作る技術を学んでいる。
10	貴校の通信制大学院でお世話になっております。
11	仕事とは関係なく自己研鑽の一環としての学びだったので、現在または近い将来での仕事や進学等には直接影響しない。

12	行っていないし、勉強したこととはまるで違うところにはありますが、卒業して数ヶ月後、職場異動になりました。ストレスの多い場所から離れられたので、これもまたなにか新しい扉が開いたのかなと感じます。今は、自分と向き合える時間があります。
----	---

No	③ 自由記述欄（卒業学科不明）
1	今後の後輩、部下等への指導的立場の資格取得をすること。
2	地域包括支援センターに転職できた。
3	大学入学前からケアマネを行っており、現在もそのままケアマネとして勤めている。
4	社協→行政へ転職
5	講師として勤務できた。
6	現在、栃木県のシルバー大学においてボランティアの勉強をしている。自分も楽しくて相手も元気になれるボランティアがあることを知り、楽しく活動している。
7	貴校通信制大学院でお世話になっております。
8	相談員として勤務

- ④ 卒業後の今、通信教育部でこのようなテーマが学べる授業や学修の機会があればよかったと感じること、改善してほしいと思うこと、その他ご提案があれば、自由にお書きください。

No	④ 自由記述欄（社会福祉学科卒）
1	本学のサービス(情報提供、こまめな指導援助)は素晴らしい。できれば早めのレポート返却をお願いしたい(一か月以内)。今回の評価改定に伴う成績表郵送もありがたかった。
2	特別養護老人ホームへ社会福祉士の配置を実現させることが求められると思う。そうしてこそ尊厳や意思決定支援に繋げる、繋げられる支援ができると思う。また、利用者の心理を理解する専門職の配置も大切なことと考え、臨床心理士によるサポート体制があると良いのではないかと思います。
3	福祉の現場での音楽活動(音楽療法)の実践を学べる機会があれば学んでみたい。
4	3度目の挑戦で社会福祉士に合格することができた。卒業したことは私の誇りです。
5	年をとってからの学びはとても楽しかった。仙台の街も大好きだった。チャンスがあればまた入学したい。
6	福祉の基礎となる考え方を再確認できた。対人援助を仕事にしていることは大学での学びが影響していると思う。いくつになっても学べる環境があることを感謝している。
7	演習Aを受ける前に実習できないと分かればよかった。仙台まで行って、施設に面接に行って、病院に電話して、全て終わってから実習できないと言われてがっかりした(試験に受からなかった自分が悪いのは分かっています)。
8	個人の考えや思いによるところが大きいと思うが、入学時はこういうことを勉強したい！という思いがあっても、通信教育という体制上、一人で勉強する機会が多く、途中からは「卒業しよう」「資格を取ろう」が主となってしまい、もったいないことをした…という思いが残っている(そういっても、すべてのスクーリングに出席できるような都合もつけられず…)。演習等の際に学生同士で、なぜ入学しようと思ったか等初心に帰る話ができる機会があれば嬉しい。
9	実習先により、しっかり教えてくれるところ、手伝いみたいなことをさせられるところ、勉強にならないところがあるので改善してほしい。
10	本校舎から東口キャンパスに変更になり、利便性は良くなったが、図書館を利用する機会が少なくなった。参考文献や図書を手で確認して選ぶことができないことが残念であった。
11	通学生ほどの時間は無理だとしても、通信の生徒同士のディスカッションの時間が必要だと思う。
12	実習の時間確保が難しく、実習免除や分割の細分化等の配慮が欲しい。
13	私自身生活困窮者支援に関わっているので、これが学問になれば、どういう授業になるのか興味がある。来年全国大会の会場が仙台になるので、何か学べる機会があれば、と思う。
14	発達障害、自閉症、強度行動障害、重症心身障害者について
15	社会福祉士の取得を考えているが、実際どれぐらい費用がかかるのか知りたい。
16	新潟の会場を改善してほしい。専門学校が生徒がうるさい、職員の態度が悪い。
17	実習のために仕事を辞めた方も多くいたようだった。仕事を続けながら資格が取れる仕組みにすると(休日を使って実習をうけるなど)学びやすいと思う。
18	様々な先生とディスカッションできる機会があれば良いと思う。小グループ(オープンカフェ方式)での場面があると質問や相談がもっとしやすいと思う。
19	医療ソーシャルワーカーを目指すもの向けのセミナーなどがあればいいのでは。例えば看護学生とのグループワークなど。施設と違って医療の現場は専門用語ひとつを取っても非常に特殊な世界だと実感している。
20	今となっては東北福祉大で頑張った自分を精一杯ほめてあげたいと思う。素晴らしい経験ができた。

21	①アウトプットする力や技術を見つけられる機会。資格を取得するためにはインプットも大事だが、資格取得は自分がやりたいことを達成するための手段だと考えると「どう取得するか」だけではなく、「どう実践にいかすか」が大事になると感じている。②社会福祉士を取得した後、精神保健福祉士を取得したいと考えるひとは一定数いると思う。その人たちに対する案内があれば良いと思う。
22	研究者としての講義はもちろん有難い。ただ、通信教育により必要なのは、臨床の実践家としても実績がある人の授業であると思う。また、授業内で間違った用語を何十人もの前で講義をしていたことは改善を要すると思う。その道のプロなのですか先生方は。
23	理論的なことのほか、実践で使う制度や制度を使う方法も授業であると思う（介護保険制度、生活保護、障害者制度の申請はどこで、どうやって行うのか、何が必要かなど）。
24	仲間と呼べる友人、知人ができることを期待していたが、残念ながら叶わなかった。心残りになった。
25	通信教育では難しいと思うが、グループでテーマを決めて資料を作成し、報告する機会があれば良い。
26	福祉の現場ではまだまだパターンリズムの風潮が残っているように思う。身勝手な援助をしているのではと感じることもある。福祉の仕事は大変ではあるけれど、利用者の利益を考えることを忘れてはいけないと思う。今後社会福祉士になられる方は、そのようなことも理解してもらいたいと思う。
27	ひきこもり支援、発達障害児・者の支援、統合失調症者の支援、保釈・出所者への支援、スクールソーシャルワーカーについてもっと充実した講義があればと思う。
28	科目履修生として、特講の授業を履修した。今の社会の問題に関わるテーマが増えれば、学びたい気持ちはある。
29	通信教育部で学んでいる多くの方が、既に福祉に関係する仕事に就いていたり、これから就こうとする方だったように思います。それぞれの地域や職能団体が主催する研修会はたくさんありますが、狭い範囲だとお互いの利害関係あり、なかなか本音の研修ができにくいと感じています。卒業生を対象とした特講のような形で定期的に学べる機会(事例研究)などがあればぜひ参加したいです。(仙台、自分の居宅地等)
30	刑務所勤務のソーシャルワーカーの話を聞いてみたい。
31	通信という点で難しい問題かもしれませんが、疑問に思うことがあっても、教職員に質問することができないのが残念に思います。
32	与えていただいた環境に感謝するだけで、それをきちんと学生が受け止めれば、結果は自然とついてくる…と思います。
33	共に学んだ学友を得られたこと。教務の皆様にもたんさんの励ましを頂き、卒業できたことに感謝しております。
34	各担当教授との触れ合いの場、そのツールがあればと感じた。
35	先生によってはグループワークの時にルールを作らないのですが、人の意見を否定しないなど最低限のルールはあってほしかったです。もちろん友人もできましたが、意外に人間関係に疲れました。あと東北で公認心理士の受験資格が取れるところがなく、それができたら嬉しいです。
36	犯罪非行心理学などです。
37	卒業した後に、改めて知識をつける場がないので、福祉の内容は常に変化しているということも考えると、卒業生も含めて行われる講義等があれば、日程が合えばぜひ参加したいと思います。
38	実習が終わって卒業まであつという間で未だに社福士の資格を取れていない。個人的にはまとめ講座などあれば受講したいが、もうすこし在学中に計画的にできれば良かったと思う。
39	私はまで科目等履修生でお世話になっており、時々大学に伺うたびに環境整備されていて感謝しております。先日仕事のスケジュールを何とかのりこえて、早朝の新幹線で成年後見の研修に上京してきました。まだ暗い中、仙台駅の乗り場で「東北福祉大学」の緑色の看板が駅から見えて、何だか胸がいっぱいになってしまいました。もう少しで50歳のおばさんになってしまいますが、震災後、自身が目指していた相談支援の仕事が出来るようになったことも、働く場があることも、次々と学びの課題があることも、みんな「東北福祉大学」が原点、スタート地点、私にとってはベースキャンプです。一つ一つスクーリング・テスト・レポート、かかわって下さった先生方と、多くの職員の方々のご尽力あってのことと心から感謝しております。通信教育部が仙台駅に近い「地の利」を生かされ、これからもご繁栄くださいますよう、皆様のご健康を共に心からお祈り申し上げます。 ・障害者支援の中で「金銭面・経済面」はいつも、ご本人・家族間の課題となります。「障害者の経済支援」のような学びがあればと思います。

40	単位修得を目指しているとき、また、卒業後も常に前向きを保っていけるように温かいサポートを継続してくれている学校の皆様方には感謝いたします。
41	①福祉分野の資格取得を目指す方々を中心とした講義になるのはやむをえないと考えますが、スクーリングでは討論などがもっとあってもよかったですと思いました。 ②ボランティアにかかわる中で、自分の理解・知識不足を感じます。卒業後もさらに学んでいきたいと考えています。
42	実習前に、アセスメントの仕方や記入例など実体験ができる機会があればよかったですと思います。(私は社協での実習でしたが、アセスメントシートを作成する機会がなかったため、いざ社福士として働くことになった場合に全く知識なし状態となってしまうため)
43	通信教育部全体のシステムを、学生があまねく理解できるよう、分かりやすくしてほしいと思います。勉学よりも、通信教育部独自のシステムに慣れるほうが大変でした。
44	国家試験という言葉が何度も出てきたように思う。資格取得も大切だと思うが、大学は学問の場であり、学問を追求していく取り組みを前面に押し出してほしいと感じていた。
45	スクーリング開催の時間、スケジュールをもう少し長くしてもいいと感じます。2日間のみのスクーリングより3日、可能なら1週間など、通信教育の概念からかけ離れているとは感じますが、そのくらいに講師の先生方の熱弁、思いや理念を聞ければと感じます。
46	全体的に満足しているので、特にありません。
47	余裕がなかったので、必要最低限の単元程度しか授業を取らなかったが、せっかくの機会なので、可能な範囲で多様な単元をもっと取れればよかった。費用を抑えるにはネットでの講義中心が優位ですが、スクーリングに多く参加することで一緒に学ぶ“友”に出会えます。これは貴重なプライスレスです。
48	どの科目を履修してよいか不安だった。履修届けを出した後に、申し込みをしなければならない実習の申し込み期限を忘れていて、事務室から声をかけて頂いて助かった。多職種ミーティングの進め方、精神保健福祉士として持つ視点などをもっと学べるとよかった。
49	オンデマンドスクーリングが、通信状態がいまいちだったのと、スマホやタブレットでできればなあ…って思っていたのですが、今ではできるそうで。あと、正直言って試験対策で他専門学校で通信を受ければ、もっと通信状態が酷かったので、マシだったのだなと思ったりしています。今の仕事は高齢者の相談担当ですが、高齢者の生活の質を高めるということで、訪問介護員や看護師の方、家族の方向けに、「高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある暮らしを続けるために」(決まり文句)研修も行っていきます。また、県社協なので広く地域福祉に関する事業も多く、災害ボランティアコーディネーターや、権利擁護、更生保護に関する研修や会議への出席などもあり、教科書が役に立ったり、もっと勉強しておくんだと悔やんだりしています。社会福祉士を目指す方は多いと思う。勤務先でお給料が上がるから、という方もたくさんいますが、転職を考える方もいるでしょう。最近流行りの、といっでは失礼ですが、生活支援コーディネーターとか、地域ケアマネジメントとか、行政が力を入れているけれど、関わる人にはもっと人権や尊厳を識ってほしい。しっかりと学んだ人が、そういう職についてほしい。これからどんどん、高齢者が増えていく。それはもう、どうしようもないことなのだから、プラスに考えて、地域や高齢の分野をもっと勉強を深められるよう…といっても、科目が増えたらいやかな(笑)…親しみやすいものにしていただけたら、と思います。
50	東京在住なので、東京でのスクーリングがもう少しあったらよかったなと思います。東北福祉大の職員・先生方は本当に親切で丁寧に対応してくださいました、感謝しています。東京からは少し遠いですが、勉強したいという方がいれば迷わず東北福祉大を勧めます。個人的にも、また通いたいと思うくらい素敵な学校です、ありがとうございました。
51	卒業生が聴講生として、自分の関心のある講座のスクーリングに参加できるようにしてほしい。(もちろん受講料はお支払いします) 同期の通信制生徒同士の同窓会的な顔合わせの会の開催を希望します。(年1回くらい大学の食堂または仙台駅前の居酒屋などでの開催のもの)
52	全体的には、たったこれだけの学費で、こんなにも効果の高い学びが可能であったことに感謝です。異議はございません。ただ一つだけ提案がございます。Withが届いても、「自分にとって必要な締め切り期日はどれか?」を見つけるが大変でした。私は見落として留年の危機に三度遭遇したのですが、事務局の皆様と友人に教えて頂いて救われたのです。「私の忘れていないことはいませんか?」と、いつも不安で事務局の相原さんにお尋ねしていた次第です。例えばWithに、こんな書き方があったら良いのになあと考えていました。1. 平成30年9月卒業目標の方 手続締切日一覧2. 平成31年3月卒業目標の方 手続締切日一覧3. …こうすれば、自分の進んでいるコースだけを見れば良いからです。自分にとって不要な情報がたくさんあり、取捨選択が非常に大変でした。私の場合は、運良く2年間で卒業できましたが、本当に危機一髪でした。

53	授業も実習も充実していたと思うが、いつもレポート提出に追われて、科目の内容をじっくり勉強することは困難であった。もっとじっくりと内容を理解したいのだが。限られた期間での単位修得では無理なのではないでしょうか。
54	東京でのスクーリングを増やしてほしいと感じた。
55	対人援助に関わる限り勉強は必要なので、卒業後も学びの場になればとてもうれしいです。
56	スクールソーシャルワークの中でも、いじめ、不登校や発達障害について深めた学びが出来たらと思います。社会福祉士でも勤務場所によって意識の向け方や対応に違いがあるので、体系的に学べる機会があってもいいかと思いました。
57	成年後見制度の専門職後見人が不足している。特に今後は福祉的支援を必要とする方々が増加し、社会福祉士に求められる役割は益々大きくなるだろう。その実務は重責であるが、今まで家族が担ってきたことでもある。大学では成年後見制度の課題などについてよく学んだ。その実務についても詳細を知る機会(後見人として仕事をしている社会福祉士の方の日常的支援内容をきくなど)があると良かったと思っている。現在、成年後見制度や生活保護受給者の支援に携わっている。それまで、自分の暮らす本当に身近なところ(つまり地域)でこのような支援・保護を受けながら生活している方々の存在を知らなかった。教科書や講義上のことではないことを実感できる授業や機会があると、学生にとっては卒業後の資格を活かした就職・転職につながり、大学にとっては専門職後見人の増加に貢献できるのではないかと思う。
58	犯罪非行心理学では、更生保護と被る内容が多かったため、もう少し心理学的要素を学びたかった。
59	認知症や統合失調症の入所者の対応について、知識不足を感じています。入所者への対応だけでなく、困惑する家族や経験不足の介護職員への対応についても悩むことが多く、もっと心理学や精神保健学の勉強が必要だと思っています。
60	当時は、レポートと試験を提出するのに必死で、期限に追われながら講義を受けていました。余裕のあるいま各科目の先生の講義を再度受講できたら、先生方の意図する話をもっと理解できるのかなと思います。
61	スクーリング会場を増やしてほしい(北海道は札幌だけだったので厳しかったです)特講で学んだ、スクールソーシャルワーカーといった日本の福祉事情に関連したソーシャルワーカーの活躍の場についてもっと知りたかったです。
62	・手間が掛かるので難しいとは思いますが、卒業論文を書かなくても、ゼミ(演習)形式で特定の課題に関して検討したり、考えを深められる連続型のスクーリングがあると、より通学型で得る学びに近いものが得られるのかなと感じます。・レポート課題の中には、教科書をどんなに読んでも課題の意図が分からないものも多くあります。特に、背景知識を持たない人は手がかりが見だしにくいのではないかと思うこともありました。三浦先生の課題には要求基準が明示されていて、その課題で何が求められているのかが明確になっていて、より考えを深めることに集中できました。学生同士で会話をしていると、「なんだか意味が分からないから、とにかく可でいいから通れと思って書いて出した」という本末転倒の感想も聞かれます。その科目で習得してほしい知識や検討すべき課題について、各先生がより具体的に整えてくださると、通信制においてもより深い学びが生まれてくるのではないかと考えます。
63	大学を卒業し、社会福祉士・精神保健福祉士の資格をとることができたが、自信がなくなかせる仕事についていませんが、できれば役立てる仕事をしたいと思っています。
64	「福祉の現場について」「職業としての福祉の現場」「福祉を必要としている人の状況」
65	防災についてさらに学びたいと思っています。機会があれば仙台だけではなく、東京・札幌でもお願いいたします。
66	20数年間、福祉とは無関係な仕事を続けてきて、何かをしたいと思い本大学で学び始めたことから全てが変わり始めました。本大学で私は一生の心からの友人をこの年齢(48歳)で得ることができ、卒業後に取得した資格によって人生が変わりました。二度目の人生といっても過言ではありません。通信教育部に通われている方々はとても福祉に対する志が高く、自分もとても影響を受けました。あらゆる意味で学びのある2年間でした。
67	学友たちと交流を深めるイベントのようなものがあるとよいと思います。

68	<p>在学中は学習や実習などをこなし、自分の内側の課題と向き合うことで精一杯でしたが、今は知的な学びということよりは心の成長(発達)に興味があり、そのことと働くこととの関連性(自尊感情と自己決定や職業選択)について考えています。もう少しやりたいテーマなどが明確になれば大学院も考えたいです。</p> <p>改善というものではないですが、通信ではキャリア支援がありません。いろいろ悩み入学を決めた人が多く、就職を紹介というのではなく、その働き方の方向性を一緒に考えてくれる人がいたら気持ちが楽になる方も多いのではないかと思います。私もそんな人の一人です。</p>
69	<p>社会福祉法人経営や介護事業経営についてより深く学べる事業があれば、これからでも履修したいと思う。</p>
70	<p>通信コースでも興味のある分野のテーマについて、ゼミナールなどで研修する道があったらいいと思う。</p>
71	<p>色々と学びを深めるため、ボランティアに行ける施設の確保があってもいいかも?と思います。在学中の中で、自分の今後も視野に入れると必要かもしれませんね。</p>
72	<p>グループワークをもっとしたかった。</p>
73	<p>福祉先進国の歴史だけでなく、福祉先進国の今をVTRで実感できるような授業が多いと興味深い。本当は研修旅行等に行けるのが夢だが。国家資格が取得できる福祉学科に比して、心理学科で可能なことが中途半端で通信で公認心理士になれるといい。そのようなルートもあれば、より多様な人材が目指せる。</p>
74	<p>認定社会福祉士のカリキュラムの実施を希望する。森岡で行う演習の講師を行わせていただきたい。</p>

No	④ 自由記述欄 (福祉心理学科卒)
1	<p>私の場合、遠方からのスクーリング参加であり、思っていたより仕事をしながらではなかなか大変だった。オンデマンドはとても助かったが一人で長時間することも闘いだっただ。地方での講義の機会がもう少し増えると良いと思う。</p>
2	<p>時代背景によりヒトの心理の変化もあったのか学んでみたい。</p>
3	<p>子どもが生まれたので、子どもの成長や教育に関することをもう一度きちんと学びたいという気持ちがある。</p>
4	<p>東京在住でも通信教育で公認心理士の資格がとれる学修の機会、体制を整えてほしい。卒業校での指導を受けられると安心。</p>
5	<p>現在現任者枠で、公認心理士の資格取得を目指しているので、対策講義などがあれば受講したい。</p>
6	<p>私は福祉心理学科に在籍していたので、福祉・教育・医療に関する心理臨床、心理判定、心理療法について学問的見地から学ぶ機会があった。卒業後、子どもの発達支援の仕事に就業することになり感じたことは、心理臨床の現場での実習やゼミ内での実践的学習やディスカッション、グループ内での研究と発表などがあるとより一層公認心理士などの資格取得へ向けた学習がより現実的にイメージしやすいものとなるのではないかと思います。</p>
7	<p>公開講座のようなものがあれば是非参加したいと思います。時期的に公認心理士非対応カリキュラムだったので残念ですが、過渡期だったので仕方ないですね…。(代わりに産業カウンセラーは受験できましたが)</p>
8	<p>科目等履修生で不足単位を修得することで、公認心理士の受験資格を取得できるようになって欲しいです。</p>
9	<p>実習を他の地域でも受けられるようになればと思う。</p>
10	<p>オンデマンドで学べる科目がもっと増えると助かります。</p>
11	<p>興味がある科目であったが隔年開講で受講出来なかった。毎年開講であったならと思った経験がありました。</p>
12	<p>心理学の基礎を学んだような感じでしたが、その後の人がどんな時にどんな行動をおこしやすいのかとか、そのようなときの対処法とかもう少し込み入ったものも知りたいと思いました。</p>

No	④ 自由記述欄 (卒業学科不明)
1	現場で実際に勤務している人たちによる講義への選択肢があればよりよいのではないかと(実学なので)。追加履修とオンデマンドの費用軽減。奨学金の拡充。福祉業界においては、いかに稼ぐか、という視点が望まれる(医療・福祉業界の人間はこの点が弱い)。
2	国際福祉論の講義を受けてみたい。
3	①一般企業から福祉関係へ入ってきた人にとって社福の業務範囲は広すぎて、どちらに進むべきかでつまづくと卒業後に転職を繰り返してしまう人もいると思う。入学後にある程度、何に進むべきか、卒業生などの仕事ぶりを見聞きして、実習に進むと良いのかなと思う。東京開催でもそういう機会があれば良い。②試験対策のテストについて難しすぎて全く役に立たなかった。改善の余地あり。
4	専門職同士の連携のためにはどうしたらいいのか。実際の連携の流れや問題点など具体的に知りたかった。事例などももう少し欲しかった。
5	福祉・介護ビジネススクール(通信)の開校
6	卒業生でも、科目等履修生で単位を修得することで公認心理士の受験資格を得られるようになって欲しいです。
7	定期的に送られてきていた「With」の件ですが、先輩からの声はいいと思うのですが、自慢話ではじまり自慢話で終わる声は不要です。どんな方法で勉強したかとか、在学は知りたいと思います。それをどこで働いているや、子育てで大変などそういう情報は、はっきり言って不要なので原稿の段階で中身の文章を確認し、「With」に載せていただければと思います。中には、不愉快な内容もありました。加えて、先生方にも講義の時間を厳守していただきたいです。遠方から来ている方もいますし、次の日仕事の方もいます。時間通りに終わってほしかったです。